

ALANDIS⁺による統合型GIS再構築

高機能なノンプラグインWebGISの導入事例

キーワード：ALANDIS⁺、統合型GIS、システム再構築、行政支援

行政支援サービス部 梶江 俊之・吉野 敦雄
 情報システム部 まつなが 松永 義徳

はじめに

アジア航測が提供する最新の WebGIS 「ALANDIS⁺」は、一世代前の当社 WebGIS と比較して多くの機能が追加されており、また各機能の高度化も実現しています。これにより、従来当社の高機能版インストール型 GIS 「ALANDIS NEO コア」でなければ実現できなかった作業がインストール不要の WebGIS でも実施可能とできるようになりました。

当社は昨年度、千葉県船橋市で 2 つの GIS を併用し

て運用していた統合型 GIS (ALANDIS NEO コアと WebGIS) の機能性を損なうことなく「ALANDIS⁺」にシステムを統合しました (図 1)。このシステム統合により、システムの併用による 2 重管理を解消し、さらに管理ツールもインストール不要とするなど管理者の負担を軽減しています。

本稿では、上記船橋市の統合型 GIS の再構築事例により「ALANDIS⁺」の特長について紹介いたします。

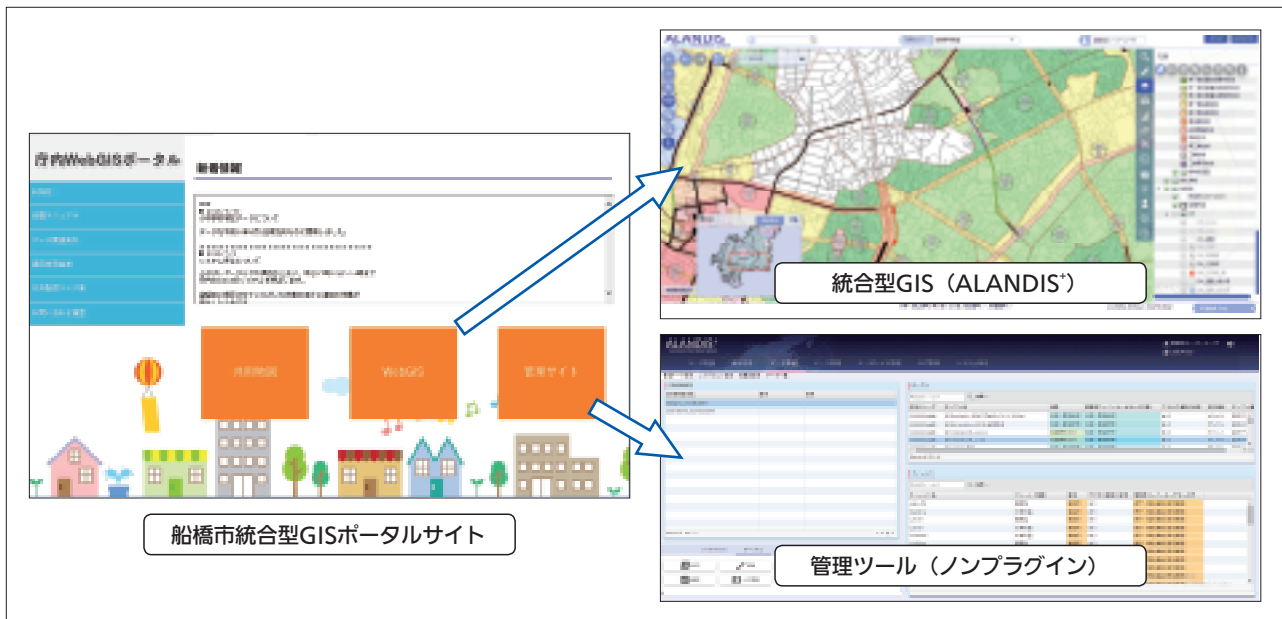


図1 船橋市統合型GIS

インストール型の高機能版GISからインストール不要のノンプラグインWebGISへ移行

船橋市の統合型 GIS はデータの閲覧・検索を主目的とした WebGIS と、データの編集や詳細な印刷物を出力するための「ALANDIS NEO コア」を併用して運用していました。

「ALANDIS⁺」には従来の当社 WebGIS には実装されていなかった以下の 4 つの高度な機能を追加しました。

- ・ Shape、CSV に加え、CAD、KML 形式のデータ入出力

- ・ スナップ、トレースなどの高度な編集機能
- ・ ユーザによるレイヤの追加、凡例の修正・作成
- ・ 空間集計などの分析機能

これらの機能を「ALANDIS⁺」に実装することによって、「ALANDIS NEO コア」を併用せずに WebGIS のみで従来と同様の運用が可能となりました (図 2)。

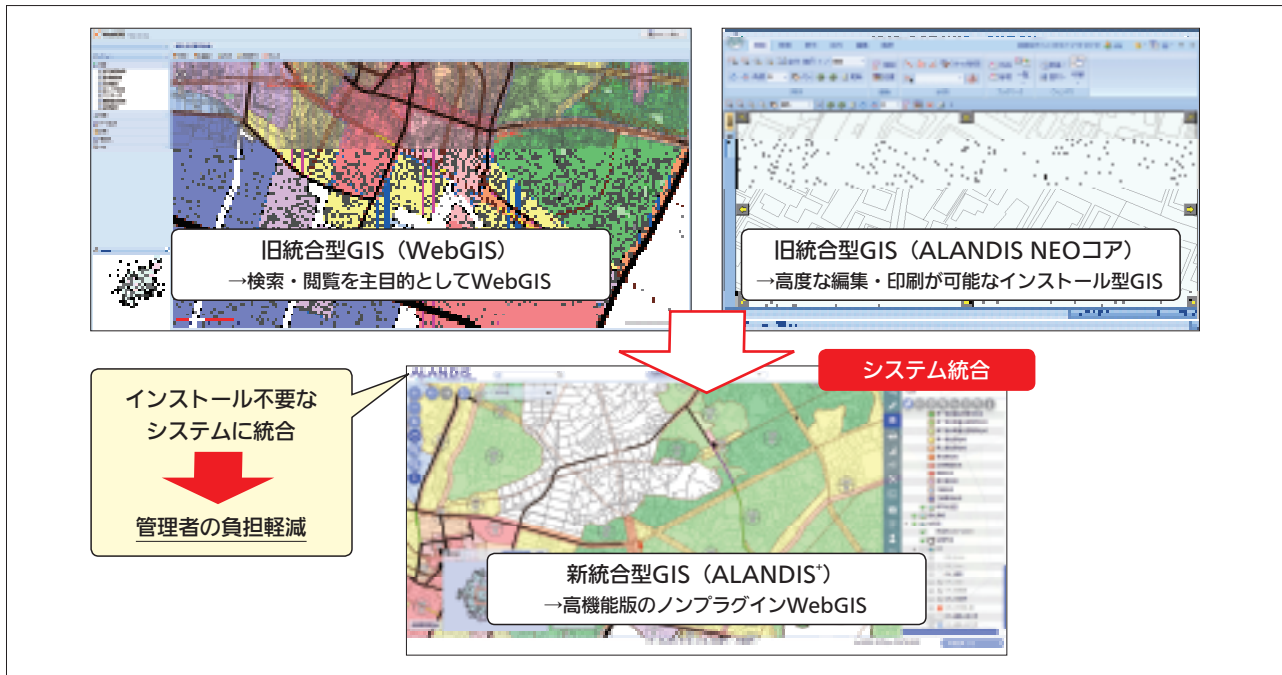


図2 旧統合型GISからのシステム統合

従来のWebGISより「ALANDIS+」で強化された機能

(1) 多くのパターンの印刷様式に対応

システム再構築前の WebGIS では印刷図の様式が限られていました。「ALANDIS+」では地図上の任意の位置に凡例や索引図を配置して印刷できるようにしました(図3)。「ALANDIS+」にこうした印刷機能がついたことで、船橋市では工事情報位置図などの位置と情報の表示が要求される資料を効率的に作成できるようになりました。

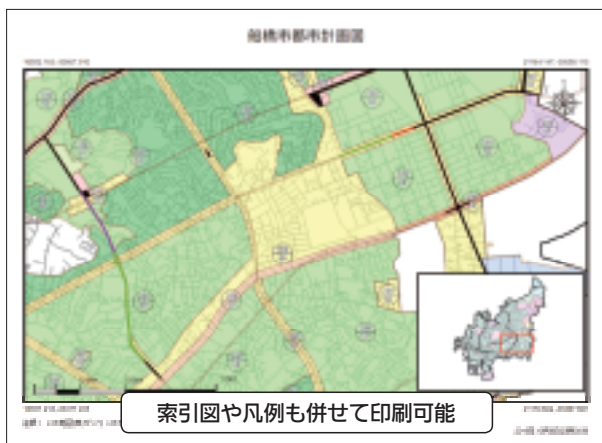


図3 印刷機能

(2) 柔軟で高度な設定に対応した管理機能

「ALANDIS+」の管理機能は、ユーザごとのデータアクセス権管理やテーマの設定、ユーザが作成したレイヤの公開承認機能など従来の当社 WebGIS よりきめ細かい設定ができるようにしました(図4)。管理ツールもGISと同様に Web ブラウザ上で動作し、インストールを不要にすることで課単位に管理者を割り当てるといった運用にも対応可能としました。

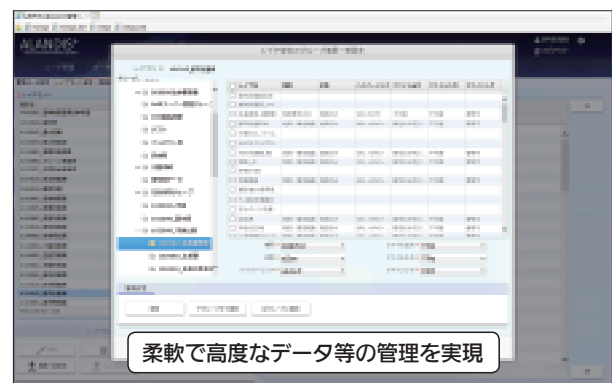


図4 管理機能

おわりに

「ALANDIS+」は利用者の様々な要望を取り入れ、定期的にバージョンアップすることでさらなる高度化を実現していきます。

当社は「ALANDIS+」上での道路管理、上下水道管理などの業務機能をさらに強化し、「ALANDIS+」に

よる統合型 GIS の活用の幅を広げていきます。今後の「ALANDIS+」の展開にご期待ください。

最後になりましたが、当社の「ALANDIS+」を導入いただき、機能の改善などの貴重なご意見をいただいている船橋市に深くお礼を申し上げます。